

企業の経営に役立つ総合的な情報誌



あきた商工BIZ plus

2026年1月発行

Vol.612

秋田県商工会連合会報

奇数月1日発行

発行日／令和8年1月1日

(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

「秋田の未来を創る協議会」



共同代表兼幹事長
県連合会大森会長の挨拶

「秋田の未来を創る協議会」代表者会議



代表者会議



台湾洋上風力発電事業
先進事例視察研修

「知事と商工会長との懇談会」



鈴木知事の講話



鈴木知事に要望書を手交する大森会長

「第65回商工会全国大会」



「21世紀商工会グランプリ」
コミュニティ維持活動強化部門
準グランプリ受賞 羽後町商工会
柴田会長



中小・小規模事業対策拡充など
6項目を大会決議



祝辞を述べる
高市内閣総理大臣

新春号

あけましておめでとうございます

昨年は、「秋田の未来を創る協議会」による地域経済活性化策をはじめ様々な活動に取り組んでまいりました。

県内21商工会と県連合会は、「明るい秋田」の実現に向け、新年も取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願ひいたします。

秋田県商工会連合会

年頭所感

秋田県商工会連合会 会長 大森 三四郎



新年明けましておめでとうございます。

令和八年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、県内企業にとりまして、人口減少はもとより、物価高、人手不足、クマ出没の影響など、経営環境は厳しさを増すばかりでした。

もはや「守りの経営」では立ち行かない状況にあり、今求められるのは、自ら未来を切り拓く「変革力」と「稼ぐ力」の強化であります。そのためには、地域の将来を見据え、夢や希望が持てるビジョンを掲げ、その実現に向かってチャレンジすることが突破口になると考えております。

その突破口の一つが、令和五年に立ち上げた「秋田の未来を創る協議会」です。秋田の強みやチャンスを経済活性化、並びに人口減少対策に結びつけるため、今年は、次の四つのテーマを、オール秋田の力で実行してまいります。

- 1 東能代駅から能代駅間の「スイッチバック化」による、県北地域の人流・物流の活性化。
- 2 秋田港、船川港、能代港、3港の連携による再生可能エネルギー等の新たな産業の成長・発展。
- 3 将来の成長分野で活躍できる「デジタル人材」「洋上風力関連人材」等の育成と若者の地元定着。
- 4 県南観光コンテンツの広域的なネットワーク化によるインバウンド等の観光需要の取り込み。

このように、エネルギーや人材の地産地消を目指すことにより、若い人たちにとって魅力的で夢のある「明るい秋田」を実現したいと考えております。

吉田松陰の言葉に「夢なき者に成功なし」とありますが、「夢が未来を切り開く」と信じ、活動してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、本年が駿馬のごとく力強く歩みを進める一年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、新春のあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

秋田県知事 鈴木 健太



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお過ごしのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年のクマの大量出没は、日々の暮らしや経済活動を脅かす異常事態となりました。県では、市町村や猟友会、警察、自衛隊等と共に総力を挙げて緊急的な被害防止対策に努めてきたところですが、今後は、人や人里を恐れないクマが増えているという前提の下に、効果的なゾーニング管理に加え、監視・捕獲の強化に資する技術の調査・実証を進めることで、人の日常生活圏における人身被害ゼロを目指してまいります。

また、現在、新たな県政運営の指針となる総合計画の策定作業を進めており、計画では、人口の社会減少数をはじめとする各種の指標において野心的かつ実現可能な数値目標を掲げることとしています。その達成に向け、「マーケティング手法」を導入して施策の解像度と精度を高めていくとともに、本県が有する地域資源のポテンシャルを最大限に生かした戦略的な施策を展開してまいりますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

秋田県商工会連合会におかれましては、昨今の物価高騰対策に加え、深刻な経営課題である人手不足に関する実態調査を実施されるなど、会員事業所の皆様の様々な課題解決に向けた取組を精力的に展開されております。

今後とも、持続可能な地域社会の構築に向け、地域経済活性化の牽引役として、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年の干支となる「丙午」は、力強い活力と勢いを意味すると言われています。新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた飛躍の年となることを祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。



「秋田の未来を創る協議会」代表者会議

「秋田の未来を創る協議会」（以下協議会）の代表者会議が、12月4日（木）ANAクラウンプラザホテル秋田で開催されました。

最高顧問の鈴木知事をはじめ、県議会議員、市町村長、大学関係者、経済団体関係者など、「政・官・学・財」のトップ約110名から参加いただきました。



「今後の取組」を協議した代表者会議



最高顧問
鈴木知事



共同代表
商工会活動を支援する
県議会議員連盟 加藤会長

テーマ1 東能代駅から能代駅間の「スイッチバック化」の実現

これまでの検討等を踏まえた「今後の取組」



大館市 石田市長

- ・「スイッチバック化」の実現に向けて、投資に見合った「鉄道利用者の増加」と「沿線自治体や住民の理解醸成」という2つの課題の解決を目指す。
- ・そのため、関係機関と連携して、その具体策を検討する。
 - ・「鉄道利用者の増加」…観光客や一般客の鉄道利用の促進、能代駅利用の促進
 - ・「沿線自治体の理解醸成」…スイッチバックによる波及効果の創出

関係者の発言

- ・能代市で進む洋上風力発電事業や水素ラボ構想等の効果を県北全域に波及させることができる。（能代市／大谷部長）
- ・観光客やビジネス客の利便性向上によって、地域経済への好影響につながる。（能代商工会議所／佐藤会頭）
- ・大館市としても、鉄道の利用は重要視しており、トラックから鉄道へのモーダルシフトにより物流の効率化や環境配慮、輸出拡大を図る「大館インランドデポ構想」を進めている。（大館市／石田市長）

テーマ3 将来の産業界を支える人材の育成

これまでの検討等を踏まえた「今後の取組」



秋田大学 尾野理事

- ・継続的に知識・スキルを習得し、企業の生産性向上や変革に貢献する人材の輩出を目指す。
- ・「働きがいのある」「働きやすい」企業を増やし、若者等の県内定着を目指す。
- ・そのため、次の3つの戦略について、その具体策について検討する。
 - （戦略1）キャリア教育の推進…大学での必修化、コーディネートの仕組みづくり
 - （戦略2）リカレント教育等の推進…教育プログラム等の周知、同教育に係る産業界のニーズ調査
 - （戦略3）「選ばれる企業」への成長支援…経営層の育成やデジタル化、職場環境整備の支援

関係者の発言

- ・県内の「産・学・官・金（金融機関）・言（メディア）」22団体と連携して立ち上げた「秋田リカレント教育プラットホーム（AREP）」によって、社会人が新たな知識やスキルを継続的に学ぶ機会を提供する。（秋田大学／尾野理事）
- ・NTTでは、若手人材の発掘・育成支援プログラムを実施するとともに、新規事業（陸上養殖事業）や産学官連携（風車の無停止点検技術の研究）により、産業・雇用の創出に取り組んでいる。（NTT東日本株式会社秋田支店／中村副支店長）

【協議会活動の経緯】

令和6年9月5日 代表者会議

「明るい秋田」を実現するための4つのテーマを承認

【県連会報605号に掲載】

令和6年10月～令和7年10月 部会等での検討

テーマ毎に、取組の方向性等を協議

【県連会報608号、610号に掲載】

令和7年12月4日 代表者会議（今回）

これまでの検討等を踏まえ、4つのテーマの「今後の取組」を協議

テーマ2 秋田港・船川港・能代港を結ぶ交通ネットワークの整備

これまでの検討等を踏まえた「今後の取組」

- 秋田港・船川港・能代港が、各港の強みを活かした機能分担により相乗効果を創出し、本県経済を牽引する拠点となることを目指す。
- そのため、次の3つの戦略について、その具体策について検討する。
(戦略1) 洋上風力発電事業の生産性向上…3港の役割分担
(戦略2) 港湾間の物流機能の強化…アクセス道路やバックヤードの整備、災害時等の海路の活用
(戦略3) 港を核とした地場産業の活性化…再エネ等の産業拠点形成や県内企業の参入促進



秋田市 沼谷市長

関係者の発言

- 洋上風力発電の資機材大型化に対応するため、静穏な船川港をストックヤードとして活用することで、秋田港、能代港との連携強化が図られる。(男鹿市／菅原市長)
- 洋上風力だけでなく、クルーズ船やコンテナ事業においても、3港が連携して県全体の成長を目指す必要がある。(秋田市／沼谷市長)
- 海外におけるODA(政府開発援助)等での経験から、3港の未来に向けて、「長期のマスターplan」の作成や港湾機能の多角化などを提案する。(株式会社JERA／狩野推進役)

テーマ4 県南“食と文化”に関する広域観光の強化

これまでの検討等を踏まえた「今後の取組」

- 県南地域に点在する観光資源のネットワーク化や広域でのプロモーションを行い、周遊滞在の促進による観光消費額拡大を目指す。
- まずは、県南地区商工会で「広域観光組織」を立ち上げ、令和8年度中に実験的に「広域観光イベント」を開催する。
- その成果を踏まえ、徐々に関係機関との連携拡大を図っていく。
- 併せて、個々の観光コンテンツの磨き上げを支援し、ネットワーク化の具体策の検討を行う。



県連合会 佐藤副会長
(ゆざわ小町商工会 会長)

関係者の発言

- 広域観光の強化には、「連携」、「継続」、「PR」を通じて、事業者の利益創出につなげていくことが重要である。「東北中央自動車道」開通を踏まえ、まずは県外との往来を増やすことも重要である。(ゆざわ小町商工会／佐藤会長)
- 仙北市では、地域資源を活かした伝統工芸体験や冬の雪体験などのアクティビティの充実に取り組んでいる。また、大曲・仙北観光圏域推進協議会で「秋田ドライブスタンプラリー」を実施し、広域観光を推進している。(仙北市／田口市長)



お知らせ



第65回全国商工会大会

11月20日（木）、東京都渋谷区「NHKホール」にて、「第65回商工会全国大会」が開催されました。全国から約3,000名、本県から48名の商工会長等が参加し、高市内閣総理大臣等から祝辞をいただいたほか、多数の国会議員や関係機関を来賓に迎えて行われました。本大会の決議は次のとおりです。

【大会決議】

1 中小企業・小規模事業者向け支援施策の大幅拡充	4 災害からの復旧・復興とリスク管理の強化
2 地方創生実現に向けた支援施策の実施	5 小規模事業者の活動を後押しする税制・金融制度の整備
3 最低賃金の引き上げ等に伴う社会保険料等の負担軽減	6 小規模事業者を支える商工会の機能・組織力向上

また、大会終了後は、「秋田県懇談会」を開催し、大森会長から県選出の国会議員に要望書を手交しました。

【要望先】衆議院議員 御法川信英氏、富樫博之氏、福原淳嗣氏、村岡敏英氏
参議院議員 石井浩郎氏、進藤金日子氏

【要望内容】

1 地方創生実現に向けた支援策の実施	2 中小企業・小規模事業者向け支援策の拡充
(1)地方創生を加速するための中小企業・小規模事業者対策予算の拡充	(1)中小企業・小規模事業者の賃上げ支援策の実施
(2)地方における中核企業の育成のための支援策の創設	(2)若者定着支援策の実施・拡充
(3)地方における創業支援策の拡充	(3)新たな需要開拓支援策の拡充
(4)地方における事業承継支援策の拡充	(4)事業者支援予算の拡充
(5)地方創生のための地域経済活性化策の拡充	(5)資金需要への着実な対応
	(6)税制の特例措置の延長等
	(7)災害対策とリスク管理の強化



秋田県懇談会にて要望書を手交

知事と商工会長との懇談会

12月18日（木）、秋田市内のホテルにて、「知事と商工会長との懇談会」を開催しました。

県からは、鈴木知事をはじめ、仲村産業労働部次長、辻田産業政策課長等が出席したほか、商工会関係からは、大森会長をはじめ全県の商工会長等が出席しました。

懇談会では、大森会長から鈴木知事に要望書を手交したほか、「人手不足対策」をテーマに、人手不足の現状や、賃上げへの取組について意見交換を行いました。



意見交換の様子

広 告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する4つの安心サポート

商工貯蓄共済



どちらも月々
2,000円
から

あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の商工会の福祉共済

全国商工会員福祉共済

「けが」の
補 償

「病気」の
補 償

「がん」の
補 償



※この紙は再生紙を使用しています。 発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代
購読料／1部10円(会費に含む)